

「人が主に向く！！」 ～正しいベクトルに立っていますか？～

Ⅱコリント3：16～18

「新しい年になりましたが、自分に変化を感じていますか？」自分では気付いていないかもしれませんが神様はいつもあなたに変化を与えておられます。成功する為の方向性（ベクトル）私たちの行いを成功させるにはベクトルがどのような方向に向いているかが大切になります。自分がどこに向かって歩んでいるかわかっているならば、自分の変化に気付きます。しかし、歩んでいる方向がわかっているなければ変化にも気がつくことができません。人がもし、今まで持っていなかった目標を持つことができたら…絶対に人生は変わります。私たちが覆われている。本来持っている自分の輝きを自分で閉じ込めてしまっています。これが私たちの覆いです。覆いの或る間は自分も周りも覆いがあるので物事の一部しか見ることができません。しかし、覆いを取り除かれれば自分も周りも見えるようになります。そうすると人は大きく変化します。私たちが見るべきところは、目に見える現状や人ではありません。大切なのは上（神様）に目を向けるべきなのです。あるピアニストのお話ですが、このピアニストはどこに行っても「ブラボー」の嵐でした。そして地元に戻ってコンサートを開いた時、いつも通り大歓声でしたが、そのピアニストは沈んだ面持ちで控え室に戻って行きました。「どうしてなのか？」と周囲が聞くと、2階席に座っていた師匠の嬉しそうではない表情を目にしたからでした。そこでピアニストは人に見せるための演奏になっていたことを気付かされるのです。その時から彼のピアノは変わりました。彼は見せるための演奏から師匠から学んだことを大切に演奏することにしました。そして彼の評価は結果前よりも素晴らしいものになったのです。神様を信じている私たちは自分の目線思いを神様に向けることができれば、どれほど祝福に満ちた人生になることでしょうか。人が主に向くことができれば……

①覆いが取られる（Ⅱコリント3:16） 私たちが神様に向くとき私たちの覆いは取り除かれるのです。神様に向いた時私たちの価値観で神様を見ると正しく見ることができません。今までの価値観に縛られていると神様からの新しいものを受け入れることができないからです。そうすると周りのことも受け入れることができなくなります。縛られて覆いをかけられて自由をなくした人はそこから出られなくなってしまいます。**②主に向くと自由になる。（Ⅱコリント3:17）** ルールや価値観に縛られていると、なぜそれが良くないのか理由もわからなくなってしまいます。しかし、神様に愛されている事を知れば、「神様が私の愛する人が悲しむから」と変化していくのです。神様から愛を受け取り、その愛を受け取るからこそ愛に答えようとする、これが自由なのです。愛によって気付いていくようになるのです。これが素晴らしいのです。愛の関係によって新しい道を見出していくことができるのです。ルールで物事を行うのではないのです。**③栄光の中に導かれる。（Ⅱコリント3:18）** 私たちは光輝いているのでしょうか。見ているものが変わると私たちは輝くことができるのです。この教会のテーマは3本の十字架です。イエス様が十字架に架かれる時、他に2人の罪人がいました。そのうちの一人は最後まで見方を変える事ができませんでした。そしてもう一人は見方を変えて自分を見つめなおし天国へ行くことができました。わたしたちは今まで人に傷つけられ、ルールを設け過去に縛られ……覆いをかけられてきました。だから過去がイエス様を屈折させてしまうのです。今日は私たちの価値観を置いて、新しい年に新しい思いを神様とともに感じて欲しいのです。イエス様の十字架にヨシュア記1:3～9節を参照して下さい。特に7節が重要です。律法を守り行え。しかし律法をただのルールとして受け取ってしまうと律法＝覆いになってしまいます。「～でなければならぬ」私たちはルールや決まりに従っている方が私たちは楽です。しかしそればかりでは「なぜそうなのか？」意味もわからず言われるがままにします。決まりだから行う。それでは行けないのです。今日是非、主に心に向け、覆いを取り除いていきましょう。そして聖書にある「律法」を守り行う為にはルールではなく、神様からの愛をしっかりと実感しながら自分が行っていることを愛する人のために守り行う。それが大切なのです。形ではなく生きて働く神様と共に毎日感じてもらいたいです。今年、抱負はありますか？その抱負を神様と共に成していきましょう。神様は私たちに大いなる計画を用意して下さいます。要約者：牧唯恵